

毎週の「聖書預言・アップデート」へようこそ。日曜日の朝は2つの礼拝を行っています。

第一礼拝は「聖書預言・アップデート」第二礼拝は、定例の節ごとの「聖書の学び」、ハワイ時間 11 時 15 分からライブ配信します。今日は今から話しますが、皆さん恐らくこれを Youtube でご覧になっていないですね。実際ご覧になっておられないのは、Youtube に再度検閲されたからです。今回のアップデートはまだライブで配信し、第二礼拝は、Facebook でライブ配信します。しかし皆さん「預言・アップデート」も「聖書の学び」もライブ配信で、検閲不可の完全版がご覧になれるので、jdfarag.org に行かれる事をお勧めします。しかし利用規約違反として、YouTube へ先行更新を報告し続ける人もいますようです。そして YouTube は、彼らの医療誤報ポリシーの違反を引用し、報告されたコンテンツを見直し、昨夜のうちに、私たちの「預言・アップデート」のうち2つを削除しました。私たちの知る限りですが、現在、変更要請している段階ですが、警戒して過去のアップデートを遡って未掲載にしています。なぜなら彼らはチャンネル削除すると脅して、私たちの12年間での2000本の動画と、25万人のYouTubeの登録者を失いたくないからです。面白いのは全てワクチンの内容動画です。通知の一つにこう書いてありました。「YouTube は、地方の保健当局や世界保健機関の専門家のコンセンサスに反する COVID-19/コロナのワクチンについての主張を許可しません。」別の違反通知には次のように記載されています。引用します。

「YouTube は、地域の保健当局や世界保健機関（WHO）の社会的距離や自己隔離に関する ガイダンスの有効性に明示的に異議を唱えるコンテンツを許可しておらず、人々がそのガイダンスに反した行動に出る可能性があります。ですから今のところ、私たちのチャンネルは1ストライクで、1週間アップロードもライブ配信も投稿もできません。2ストライクで、2週間コンテンツの公開ができなくなります。90日以内に3回ストライクで、YouTube からチャンネルが永久に削除されます。こうしようと思ったわけではないのをご理解くださいますように。何年も前、事実2008年に、「預言アップ」を始めたのは2006年で、2008年は、まだYouTubeが比較的新しい頃でした。実際、10分以上の動画を投稿することはできませんでした。それは、イントロダクションで、1部、2部.....8部 というような感じでした。それでスタッフの一人が私のところに来てこう言いました。「YouTube にあなたの動画を投稿してもいいですか？」私は、こんな感じで言いました。「どうぞどうぞ。たぶん7~8回ほど再生されて、そのうち半分は私の家族だろうね。」

そうやって私たちは、Youtube チャンネルを始めたのです。つまり、神が賢者を辱めるせるために、この世の愚かな者を選ばれ、たどり着かせられるとは知らず皆さんがご存知であることを願いますが、私をご存知の方にとって、私は皆さん方の牧師であり、この教会の牧師を務めることは私の特権です。私は YouTuber になろうと思ったことはありませんが、Youtuber と呼ばれるのでしょうか？ 私は youtuber でなく、牧師であることを好みます。皆さんが私の心を分かってくくださるのを願います。主は私の心をご存知です。私はこの素晴らしい教会の牧師です。この教会は素晴らしいです。皆さんがそれを分かってくくださるのを願います。私がよく言うのは、もしこの教会の牧師でなかったら、ここが、私の行く教会だということです。それほど素晴らしい教会なのです。そして、私たちのチームは、私たちには素晴らしいチームがいます。彼らはこの件で、精力的に取り組んでおり、私たちのコンテンツがまだ利用できるように、できる限りのことをしている最中です皆さんの引き続きのご忍耐に感謝します。しかし何よりもこ

れまで以上に、お祈りいただけますように。祈りの重要性については、言い尽くせません。私たちは皆さんのお祈りが必要なのです。主が私たちのために、この件にご介入して下さることを信じます。

次に、第二礼拝の問題です。従来 Youtube で全配信してきたようなライブ配信は出来ないからです。しかし、ハワイ時間の午前 11 時 15 分に jdfarag.org でライブ配信予定です。またチームがライブ配信を、フェイスブックでもしようとしています。今日は、主の御心なら第一章を完了します。節ごとの「聖書の学び」テトス第一章 9 節から 16 節です。

今日の説教のタイトルは「自分自身に問う」としました。実際 10 の質問です。今日後ほどお話しします。主の御言葉で、今日どんなことを私たちにご用意してくださっているのかとても楽しみにしています。では、「聖書預言・アップデート」を始めます。先週、今日の預言アップについて、本当に主を求めた後、彼が私に"準備する"必要を指摘させられたのを感じました。言葉遊びのように聞こえるかもしれませんが、お許してください。しかし、私は Get Ready（準備をする）ではなく Be Ready（準備できている）というタイトルを選びました。理由は、私が心から信じるのは、私たちに準備をする時間はもう残されていないことです。むしろ、この先に何が起こるかに備えて、準備をする必要があります。少し前にも、これが来ていると、言える時期があったかもしれません。しかし私は今日、皆さんの前に立ち、来るべきものは既にここにあり、私たちは準備ができている必要があるとお伝えします。いつものように、神の御言葉から始めます。これらの預言アップを行うための基礎として堅固な土台を確立するようこれを行います。そして、皆さんに「使徒の働き 17 章 11 節」のペリア人のようにご自分で聖書を調べていただくことをお勧めします。

「この町のユダヤ人は、テサロニケにいる者たちよりも素直で、非常に熱心にみことばを受け入れ、はたして（パウロが言っている事が）その通りかどうか、"毎日"聖書を調べた。」（使徒 17：11）

皆さんがそうされるのをお勧めします。それでは、私たちの最初の節、「ルカの福音書 12 章 35 節」に注目していただきたいと思います。イエスが話しておられます。

「腰に帯を締め、明かりをともしていなさい。」（ルカ 12：35）

「あなたがたも用心していなさい。人の子は、思いがけない時に来るのです。」（ルカ 12：40）

「しかし、あなたがたは、必ず起こるこれらすべてのことから逃れて、人の子の前に立つことができるように、いつも目を覚まして祈っていなさい。」（ルカ 21：36）

ヨハネの黙示録 3 章 3 節これは、イエスがヨハネに、聖霊によって、サルデイスにある教会に書かせた手紙です。3 章 3 節で、こう仰っています。

「だから、どのように受け、聞いたのかを思い起こし、それを守り悔い改めなさい。目を覚まさないなら、わたしは盗人のように来る。わたしがいつあなたのところに来るか、あなたには決して分からない。」（ヨハネの黙示録 3：3）

「見よ、わたしは盗人のように来る裸で歩き回って、恥ずかしい姿を人々に見られることのないように、目を覚まして衣を着ている者は幸いである」（黙示録 16 章 15 節）

「ですから、ほかの者たちのように眠っていないで、目を覚まし、身を慎んでいましょう。」（第一テサロニケ 5 章 6 節）

再度「第一テサロニケ 5 章（今回は）2～3 節」私たちはこれをよく話しますので、皆さん馴染み深い節です。

「主の日は、盗人が夜やって来るように来ることを、あなたがた自身よく知っているからです。」

「人々が『平和だ、安全だ』と言っているとき、（これら具体的な2語：平和と安全/平和と安心/平和と安定は、原語のギリシャ語でアスファリアです）

「人々が『平和だ、安全だ』と言っているとき、妊婦に産みの苦しみが望むように、突然の破滅が"彼ら"を襲います。（彼らは）それを逃れることは決してできません。」（第一テサロニケ5章2～3節）

「万物の終わりが近づきました。ですから、祈りのために、心を整え身を慎みなさい。」（第一ペテロ4章7節）

「目を覚ましていなさい。堅く信仰に立ちなさい。雄々しく、強くありなさい。」（第一コリント16章13節）

箴言全部の中で、他の節と同様、私のお気に入りの1つです。

「賢い者はわざわいを見て身を隠し、浅はかな者は入って行って痛い目にあう。」（箴言22章3節）

そして最後に

テトス2章11～13節

「実に、すべての人に救いをもたらす神の恵みが現れたのです。」

「その恵みは、私たちが不敬虔とこの世の欲を捨て、今の世にあって、慎み深く、正しく、敬虔に生活し、」

「祝福に満ちた望み、すなわち、大いなる神であり私たちの救い主であるイエス・キリストの、栄光ある現れを待ち望むように教えています。」

いいでしょう。これらの具体的な箇所を選んだ理由は、これらはすべて、間もなくの再臨にも期待しつつ、私達が期待して準備はできていることを語っているからです。私たちにはもうやり残したことがないので。先週話した通り、私たちは整理整頓されています。これは私たちが、教会携挙がもういつでも起こりえること、差し迫っています。実際には、これは私たちが準備しなければならないリストの一番目で、すなわち、教会携挙におけるイエス・キリストの差し迫った来臨です。皆さん、私がこれを言う事にうんざりされないのを願います。主が私に呼吸させておられる限り、言い続けます。そして私が、主のこの教会の説教壇に立つ特権がある限り、言い続けます。携挙はもういつでも起こりえると心の底から信じています。私を含め、私たち誰もが想像もつかないほどに、教会携挙は本当に本当に近いのです。また、「携挙」という言葉は聖書にはないと主張する人たちがいることは十分承知しています。構いません。若い頃はもっとエネルギーがあったので、誰かにそう言われると少し過激になりました。しかし今、年を取るにつれて私は霊的な成熟したと思えます。私はもっと慈悲深くて親切で優しい、キリストのような人です。そうではありません。-(笑)- もうエネルギーがないんです。分かるでしょ？ 何かが起こったり、誰かに何かを言われても、若い時は、「よし！ かかってこい！」という感じでしたが年を取ると、「・・・いや...まあいっか。。。」という感じです。-(笑)-

では、「携挙という言葉は聖書にはない」と言う人に何と申すのでしょうか。こう言えます。

「英語の聖書をお持ちなら、ないでしょう。英語の聖書には携挙と言う言葉はないけれど、ラテン語聖書には、「ラプトゥルス」という単語があり、翻訳すると、「ラプチャー/携挙」です。」

そしてそれは、「**第一テサロニケ4章**」にあります。**15章から18章**を読みます。使徒パウロが手紙を書いています。これはパウロの最初の書簡です。私たちは、第一・第二テサロニケの両方を学びましたね。素晴らしい学びでした。使徒パウロが聖霊によって書いています。15節から、

「**私たちは主のことばによって、あなたがたに伝えます。生きている私たちは、主の来臨まで残っている**

なら、眠った人たちより先になることは決してありません。」

キリストにあって亡くなった人々のことを話しています。そして理由は、

16 すなわち、号令と御使いのかしらの声と"神のラッパの響き" (大変重要です) とともに、主ご自身が天から下って来られます。

聖書聖句には、2種類のラッパがあります。御使いのラッパはイスラエルの為、神のラッパは教会の為です。区別をしてください。多くの人たちが混乱しています。彼らは、最初のラッパと終わりのラッパ、神のラッパ、御使いのラッパを話す時に、区別せず曖昧にしてしまうんです。これは教会のための神のラッパです。

**...そしてまず、キリストにある死者がよみがえり、それから、生き残っている私たちが、彼らと一緒に雲に包まれて、(いいですか? 2語です。) "引き上げられ/caught up"、ギリシャ語で、"ハルパツツォ" ラテン語訳聖書で、"ラプトウルス" ハルパツツォより、ラプチャーの方が好きですね。なんだか豆のように、ハルパツツォ豆みたいに聞こえます。ラプチャーの方が、もっと迅速に聞こえます。私はその方が好きです。それがその単語を引き上げられる(携挙される)と訳しているのです。ハルパツツォ=奪われる。
...彼らと一緒に雲に包まれて引き上げられ、空中で主と会うのです。こうして私たちは、いつまでも主とともにいることになります。」**

「ですから、これらのことばをもって互いに励まし合いなさい。」

「第一コリント 15章 51~53節」 を読みます。使徒パウロが再び携挙について語っています。51節、**「聞きなさい。私はあなたがたに奥義を告げましょう。わたしたちはみな眠る(死ぬ)わけではありませんが、みな変えられます。」**

終わりのラッパとともに、たちまち、一瞬のうちに変えられます。一瞬です。その話には入りませんが。数字や計算が得意で、計算したことがある人にとっては、これは目を疑うほどの速さです。

「終わりのラッパとともに、たちまち、一瞬のうちに変えられます。ラッパが鳴ると、死者は朽ちないものによみがえり、私たちは変えられるのです。」

「この朽ちるべきものが、朽ちないものを必ず着ることになり、この死ぬべきものが、死なないものを必ず着ることになるからです。」

この意味が分かりますか? 携挙の時、生き残っている私たちは、キリストにおける死者が先によみがえり、肉体の復活をします。生き残っている私たちは、聞いてください。私たちはこの肉体を脱ぎ捨てます。待ちきれません。つまり、これだけ、この長年使い古した肉体ですね? 瞬く間にこれを脱ぎ捨て、瞬時に新たな栄光の肉体を身にまとうのです。待ちきれません。私は既に注文しています。主との内緒の話です。今度は、たぶん肩や顎が、永遠の違う栄光の体になるかもしれません。それが携挙です。敢えて言いますと、これが、神の預言カレンダーで次に起こる出来事です。こういう風に言わせてください。携挙前に、起こらなければならない事は何もありません。もういつでも起こりえるのです。これは、準備のための2つ目のリストに繋がります。それは前述の突然の破滅のことです。彼らが「平和だ、安全だ」と言っている間に、これは、中東戦争勃発に相対して起こります。最後に、私が言いたいのは、おそらく2~3、4年以上私たちは具体的にこの話をしてきました。**「イザヤ書 17章 1節」**にある預言です。

「ダマスコ(ダマスカス)についての宣告。『見よ、ダマスコは取り去られて都でなくなり、瓦礫の山となる。』

それは完全に、全てが完全に破壊され人が住めなくなるでしょう。まだ起こっていませんが、もう起こり

かけています。それが成就した時には、エゼキエル書 38 章に記されているもう一つの非常に重要な預言のきっかけになると、私は本当に信じています。この預言が何を意味するのか、簡単に要約させてください。ロシア、イラン、トルコ率いる国家間の同盟国が、北から、シリアのダマスカス経由で、イスラエルへ侵攻します。イスラエルが持っているもの、戦利品を取る目的でイスラエルに侵略するのです。

イスラエルは今、何を持っているのでしょうか？ それについてはあとで話しましょう。「エゼキエル書 38 章 13 節」にご注目ください。この「エゼキエル書 38 章」の預言は大変詳細です。ここに詳細の 1 つがありますが、私にとっては驚くべきことです。シェバ・デイ・ダンと書いてあり、これは、現代のサウジアラビアとして知られている地域の古代名です。それを覚えておいてください。後で戻りますので。

「**シェバやデダンやタルシシュの商人たち、およびそのすべての若い獅子たちは、おまえに言うだろう。**（イスラエルに侵略する同盟国に対して言うのです。）**『おまえは分捕るために来たのか。獲物をかすめ奪うために隊を構えたのか。銀や金を運び去り、家畜や財産を取り、大いに略奪しようとするつもりか』**と。」

つまり、彼らはこの侵略に抗議しているだけであって、この侵略に加担しているわけではありません。イスラエルを侵略する同盟国軍に、イスラエルが持っているものを奪うためにこんなことをしているのかと抗議しているのです。この預言の成就の時、イスラエルが再び非常に繁栄していることを前提としています。再度それを覚えておいてください。日曜日、The Jewish Press は、ダマスカスのイラン軍の陣地を狙った空爆が複数回あったと報じました。引用します。

「日曜日の夜遅く、シリアの公式アラブ通信社サナは、イスラエルがゴラン高原の方向からミサイルを発射し、ダマスカス付近が標的だと報道。」ある軍事情報源が発表したのは、（覚えておいてください、これはアラブの情報源です。）イスラエルの敵は、（OK 彼らは敵です）占領されたシリアのゴラン方向から航空攻撃を開始した。（彼らは占領者であり、敵であり、侵略者であるからです。/アラブ発音）彼らもこのように言っています。占領されたシリアのゴランと、ダマスカス周辺のいくつかの基地を標的にし、シリアの空軍は敵対的なミサイルを迎撃し、ほとんどを撃墜したと付け加えた。イスラエルの Can ニュース公共放送局のヘブライ語ニュース特派員アミカイ・スタイン氏はツイッターの投稿で、報告されたイスラエルの空爆について次のように述べている（これ重要です）シリアでは、今週末にオマーン湾近くのイスラエル船をイランが攻撃したことの報復としています。どうなってるのでしょうか？ アブラハム協定に入ってるんです。月曜日、エルサレムポスト紙は、イスラエルが現在、サウジアラビア、U.A.E.、バーレーンと会談中であり、イランに対する防衛同盟として中東の NATO を求めているとの報道を掲載した。皆さん、この引用を聞いてほしいのです。

「ベンジャミン・ネタニヤフ首相とサウジアラビアの皇太子モハメド・ビン・サルマン MBS は、昨年 11 月に、紅海に計画されているサウジアラビアの未来都市ネオムで密会。」皆さんこれご存知でしたか？ 私も知りませんでした。「外務大臣ガビー・アシュケナージは、オマーンの外務省事務総長バドル・アブ・ブサイと話し発表した。」（引用します）（これは因みに、ネタニヤフ首相がサウジアラビアにいます。）

「また、共通の関心事や、地域の・・・"平和と安定"・・・の実現に向けたあらゆる努力を支援することの重要性についても意見交換が行われた。直接の連絡手段を維持し、さらなる協力関係の強化を図ることと合意。」皆さんこれは何が起きているかお分かりですか？ 何が起きているのかをお話しします。

「エゼキエル書 38 章」が起こっているのです。「イザヤ 17 章」が起こっているのです。預言者ダニエルが語る"和平条約"が起こっているのです。今からここで見ようとしているように、「黙示録」の預言が進

行っていて、私たちが言われている通りに、全てがまとまってきています。先週、サンディエゴのマラナータ・チャペルのレイ・ベントレー牧師が、彼のウェブサイトにある動画を送っていただきました。リンクは下部にあります。皆さん、お時間を取って、本当にご覧になるのをお勧めします。是非ご覧になるべき動画です。その中で彼は、見事な預言成就についてを語っています。 アブラハム協定に相對し、いかにイスラエルがエネルギーと貿易の新たな世界の中心になるかもしれないことです。理由は、イスラエルは既に紅海に面した南港町から地中海沿岸のアシュケロンまでを走る重要な石油パイプラインを制御しているからです。驚くべきことに、(私はぶっ飛びました。) その石油コンジットは、60年以上前にイスラエルとイランの合弁事業で建設されました。イランの過激なイスラム革命が起こる何年も前です。レイ牧師の言葉を引用します。「今、イスラエルの三大陸ハブの裏側が見えてきました。また私たちは、その裏でアブラハム協定を一步進めているのは政治であることにも気づき始めています。また別のレベルでは宗教です。しかし別のレベルでは、その背後にあるのはお金です。この2つの元ライバル間で、より大きな計画が検討されています。驚くべきことに、イスラエルと U.A.E.は、イスラエルの大規模な運河プロジェクトの建設の可能性を検討しています。これは、世界最大の海洋船用トランジットを容易にするには、十分な大きさであろう。サウジアラビアは、アブラハム合意の傍観者であり続けはしないだろう。UAEのようにイスラム王国が、イスラエルとの関係を認識することによって、大きな経済的利益を得るだろう。」画面は、赤の実線が既存のイスラエルの石油パイプラインを示した地図です。黒の点線はレッドメド運河案、赤の点線が、サウジアラビアからハイファへの石油パイプライン案ですそれが通っているのは、(お聞きください) 全方面へ走るジェズレル溪谷、別名メギドの丘=アルマゲドンです。言うまでもなく、これは 具体的に、「エゼキエル書 38 章 13 節」の詳細について特に深い預言的な意味合いを持っています。「黙示録 16 章 14 節から 16 節」の預言は言うまでもありません。すべてが予定通り完璧に進んでいます。お～皆さん、その光景を思い浮かべることができるでしょうか。こういう風に想像するのをお許しいただきたいのですが、イランとロシアがトルコと電話会議する場面、想像できますか? 「彼らが何をするか聞いたか? パイプラインを建設するらしい。我々の経済の 9 割が石油輸出で成り立っているのだから、それを許すわけにはいかない。」「もし彼らがそれをするなら、我々にとってゲームオーバーだ。だから、それを阻止しないとイケない。」「我々はどうする?」「彼らを侵略しよう。」時々思うに、彼らは、聖書を読んでいるのではないかと思います。「エゼキエル書 38 章によると、我々は今イスラエルにいるんだけど。」と。繰り返しますが、私の馬鹿な描写をお許してください。これが聖書預言です。私たちの目の前で、猛スピードで、リアルタイムに成就しています。そしてこれが重要なんです、すべてが結びついています。私は預言的な交差と呼びます。私が言いたいのは、これらの預言はすべて相互に関連していて、互いに交差しながら、一致して成就するということです。ですから、「イザヤ書 17 章 1 節」のような預言があり、それは「エゼキエル書 38 章」の預言のきっかけとしてさえ交差して繋がっているのです。そして、もう一つはこうです。全てが本当に迅速に起こるでしょう。本当に考えれば、そうなりますよね? 一時停止や休憩や、ちょっとみんなで集まって...という場合じゃなく、何と言うか、「私は自分の立場を整理する必要があります。」この「言い習わし」はどういう意味なんだろうとずっと思っていました。これは私の世代よりも古いものです。しかし「私は自分の立場を整理する必要があります。」つまり、皆さん想像できますか? こういう感じです。一時停止を押しているようなものです。早送りはすでに押されているので、一時停止はできないでしょう。皆さんの機器/デバイスが私の同様なら、それがこんにちの技術だと思いますが、今は何倍できますか? 2倍3倍早送り? デバイスを1

つ持っている、これは言うべきではないと思いますが...とにかく、私はまだ保存しています。8倍速早送りにして、もちろん私は忍耐強く、敬虔な神の民だから、私はいつもその設定を使っています。ずっとそのの方が速いからです。それだけのスピードで、何もかもが進んでいるということです。これが、世界経済フォーラムの"偉大なる再設定"を先導する来たる世界経済崩壊というリストの3つ目に繋がります。月曜日、Political は面白い見出しの記事を掲載しました。"バイデンのバブルリスク。景気が回復していく中での市場再評価" 彼らの言葉の一部をお聞きください。

「巨大なバブルが再び金融界のあちこちで膨らんでいる—今後数ヶ月の間、ワシントンに問題を引き起こす可能性がある。ミーム株からクリプトカレンシー、テック株、特定目的買収企業/SPACs のリスクが明らかに上昇している。ウォール街のプロやワシントン政策立案者は、これらのバブルの一部または全てが、壮大な方法で爆発する可能性があるのを知っている。しかし、誰も本当にどうすればいいのかわからない。コロナで打撃を受けた経済は、莫大な数のアメリカ人を浮揚するため"約2兆ドル"の"追加援助"の資金を必要としている。」

補足して考えていいですか？ 兆？ 1000 まで数えてみてください。途中で数えたくなくなります。やってみても、途中で寝てしまうでしょう。たったの1000で。では、10,000は？

では100,000は？ いいでしょう。あなたは良くできる方です。では、100万。まだまだずっと先の、兆?? それがいづらか分かりますか？ これは偽のお金ですよ。ちなみにこれは設計上のものです、そうでしょう？ これは世界経済の制御された解体であり、このバブルを誰もどうしたらいいかわからないですって？ もう爆発しそうですよ。そして、その引き金を知っていますか？ Cで始まって2つの数字で終わるものです。

「異様な環境であり（引用中です）最も経験豊富な経済学者や投資家さえも困惑させている。ドットコムバブル崩壊前の1999年に見られた異様な感情が入り混じる。」覚えておられますか？ 何人かは若すぎて覚えておられないですね。無邪気でいてください。無知は至福です。「2008-09年の金融危機後までの10年の期間と、1929年の暴落で幕を閉じる前の1世紀、パンデミックの後の激動の1920年代初期の時代。ウォール街ではシナリオが熱く議論されており、多くの市場の専門家が市場のリスクを恐れている。

（これお聞きください。）彼らの人生の中で、最も偉大なものの一つである。」彼らは正しいです。その通りです。これは4つ目に関係しています。この時点でFacebookのライブストリームを終了します。この続きは、是非JDFarag.orgで検閲不可の完全版でご覧ください。

これが最も重要であり、ワクチン接種への圧力が増える事に備える必要がある、と言わせて頂きます。ワクチンに関する真実を語る勇気のある人だけを検閲しているのは面白いと思いませんか？ 驚くべきではありませんね。昨年、私たちはそれをじっくりと取り上げました。当時ニューヨークで、パンデミック演習"イベント201"として知られていました。私は、そのコロナウイルスパンデミックの模擬訓練から引用しました。2019年10月ですよ。私が何を言っているのかわかりますか？ 本当のコロナウイルスの"パンデミック発生"の数週間前のことです。この模擬訓練に、ビル&メリнда・ゲイツ財団、世界経済フォーラム、ジョンズ・ホプキンス大学がいました。こんにち、実行に移している役者が揃っていたのです。私はこの計画実行という言葉を使いたくありませんが、それはすべてが計画されているからです。因みに、何年も前から計画されていました。その模擬演習で、彼らは円卓で座談会をしています。皆さん、まだオンラインで動画をご覧になれると思います。彼らはこう話しています：「ソーシャルメディアでの'誤報'には十分注意する必要がある。」「ですから、世界保健機関に関して'誤情報から国民の安全を守るため'、

一定の'セーフガードを実施'しなければならない。」つまり、まるで台本のように読んでいるのです。その通りに。私がこう言う時は、気をつけたいと思います。今更？と仰る方もおられます。皆さんがテレビの画面やパソコンの画面で見ているものは、すべて台本があることをご存知ですか？ それは、まるで現実のテレビ番組のようなものです。この人たちはみんな、つまり実際にオーディションを受けて役を得た役者で、自分の役を演じ、彼らは自分の役割を果たしているだけなのです。全てが台本通りのショーなのです。面白いのは、あえて本当のところを語る人がいれば、それはイベント 201 の台本通りに、検閲し、停止し、ブロックし、ソーシャルメディアのプラットフォームを削除したりします。そのこと自体が、何かを物語っているのではないのでしょうか。ここ数週間のアップデートは、ワクチンが中心になっていることは認めますが、実際、この問題は非常に深刻であり、日を追うごとにさらに深刻になっているように思えます。どうか私の話を最後まで聞いていただきたいと思います。

まずは、「Dystopian Nightmare/ディストピア（悲惨な）悪夢」と題した The Daily Wire のコメントをご紹介します。

"マイクロソフトが学校と提携し、子どもたちに Covid/コロナの「デイリーパス」を作成" 引用します。

「マイクロソフト社は、ロサンゼルス統一学区と提携し、生徒に”デイリーパス”と呼ぶ COVID-19/コロナ関連の”総合システム”を提供している。このシステムは、子どもたちが独自の QR コードである”デイリー・パス”をスキャンして学校に入ることが必要となる。生徒たちは、自分のバーコードを持っていないなら、学校には入れない。地区の発表では、生徒たちはなおもマスク着用し、6 フィート離れて行動し、学校の外で体温測定。また、デイリーパスのポータルサイトには、最もリスクの高い人から低い人まで学生とスタッフにワクチンを接種させるためのコーナーもある。ポータルサイトから、お子さんのワクチン接種の予約が可能。」質問です。なぜか教えてください。99.99999%の回復率を誇るウイルスに対して、明らかに安全性が高いというワクチンを接種するために、脅しまでして、全員にワクチンを接種させることを急ぐ必要があるのでしょうか？ ここアメリカではデイリーパス、イスラエルではグリーンパスと呼ばれています。月曜日、タイムズ・オブ・イスラエル紙は、コロナウイルスのワクチン接種をした人のためのいわゆる「グリーンパス」を、ナチス・ドイツがホロコーストの際にユダヤ人に強要した「イエロースター」になぞらえるワクチン接種反対派のデモを報じました。

「テルアビブで行われたデモでは、数 100 人が集まり、政府の計画に抗議。この計画は、COVID-19 のワクチン接種した人や回復した人にグリーンパスと呼ばれる身分証明書を発行し、接種を拒否した人よりも公共の場に入ることができるようにするというものだ。また、アパートヘイトの一種であるとグリーンパス制度を非難する横断幕と並んで、このパスをホロコーストのイエロースターや、ナチスが強制収容所の収容者の腕に彫った数字になぞらえた横断幕も掲げられた。また、イエロースターをつけている人もいたという。その 1 週間前に行われたテルアビブでの集会では、マスクをしていない人も多く、イスラエルのワクチン接種キャンペーンとナチスの法律を比較をもしていた。「ワクチン接種してない」と表現するため、ダビデのイエロースターをつけている人もいたが、これはホロコーストの際にナチスがユダヤ人につけさせたものと似ていることを意味した。」

因みに、そこに向かっていっているのです。今月初め、フェイスブックは、ワクチンに関する陰謀論を推進するイスラエルの主要グループを削除したと発表。このグループは、何千人ものメンバーに、ワクチン接種の予約をさせながら、直前になってキャンセルし、HMO に未使用ワクチンを無駄にさせた。フェイスブックは、このグループがフェイクニュースに関するコミュニティ基準に違反したとしています。このグル

ープがソーシャルメディアから削除されたのは、厚生省がフェイスブックに、"反ワクチン主義者の功績を自慢する投稿を削除するよう"要請した。大手ソーシャルメディアは、反ワクチン主義者や偽ワクチン接種情報を広める人々を自社のプラットフォームから排除を誓約。私たちの安全を守っていただきありがとうございます。YouTube、Facebook、SNS、本当にありがとうございます。あなたがいなかったら、私たちはどうすればいいの？ 私たちは実際に生き延びれます。

あなたたちがいなくても、私たちはそうするでしょう。私の皮肉をお許してください。それは聖化された皮肉ですが、それでも皮肉です。皆さん何故か分かりますか？ それは、この為です。

フェイスブックといえば、プロジェクトヴェリタスが「フェイスブック CEO のマーク・ザッカーバーグは、自身のプラットフォームの新しいポリシーに違反し『反ワクチン』の姿勢をとっている」と題した YouTube 動画を公開しています。画面は、ザッカーバーグのスクリーンショットで、次のように述べています。引用します。

「人の DNA や RNA に手を加えることによる長期的な副作用についてはまだ分かっていないので、この件については注意を払っておきたいと思います。」私が今言ったことを聞かれましたか？ 私が言ったのではありませんよ。いや、言いましたけど、今のは引用です。ザッカーバーグを引用中です。

「DNA は、あなた自身の核細胞に内在しています。基本的に人の DNA や RNA を改造して、直接コード化することによる長期的な副作用については不明で、また、それが他の突然変異や最終的なリスクを引き起こすかどうかはわかりません。ですからワクチン開発というのは、両方の途上にいるのです。」

引用終了。

この引用は、プロジェクトヴェリタスにこれを提供したフェイスブックの内部関係者からリークされたものです。2020年7月に行われたフェイスブックの社内、週間 Q&A ミーティングでのものです。プロジェクトヴェリタスによると、先週フェイスブックは（以下）発表しました。

「COVID-19/コロナワクチンに関する Facebook や Instagram での虚偽の主張を削除する取り組みを拡大している。」そして、新しいポリシーを出しています。以下フェイスブックの新ポリシーです。

「私たちは、COVID-19/コロナやワクチンに関する有害なコンテンツから人々を守るために、私たちのポリシーが役立つよう確認させていただきます。」

プロジェクトヴェリタス曰く、（引用します。）

「しかし、本当のキッカケは、フェイスブックが、"COVID-19/コロナワクチンが、人々の DNA を変えると主張する"コンテンツを削除するというポリシーのここにあります。」

皆さん、Youtube が、私たちのどの動画を削除したかご存知ですか？ 人間の DNA を変化させることを具体的に取り上げて証明したものが、検閲の対象になっているのです。興味深いです。ああ、もっと興味深いのは、そのうちのひとつは昨年 7 月の動画で、ザッカーバーグが言ったのとほぼ同時期で、私が言っていたことと同じことが検閲されることになりました。プロジェクトヴェリタスを続けます。

「フェイスブックの CEO であるザッカーバーグから、自らの行動規範に基本的に違反していることが分かる新たなリークテープを入手。彼の発言のために、現在のプラットフォームでは検閲されるだろう。

少し偽善的だと思いませんか？ しかしその後、（良くなり、実際にはもっと悪くなります。）

11月30日、ザッカーバーグは、ホワイトハウスの医療顧問のアンソニー・ファウチ博士とのライブ配信による質疑応答の中で、ワクチンとその DNA および RNA への影響について、多少の変更を加えたようです。引用：これは昨年 11 月にライブ配信された、ファウチ博士とザッカーバーグ氏のインタビュー

の様子です。ザッカーバーグを引用：「私の理解では、これらのワクチンは DNA や RNA に影響を与えません。これは重要な点だと思いますので、はっきりさせておきましょう。もし私が何か間違っていたら、もちろん訂正していただきたいのですが、その点だけは明確にしておきたいのです。」ファウチ博士の応答を引用します。「いや、まず DNA は自分の核細胞に内在しています。異質なものを貼り付けても、結局は綺麗になるのです。」ザッカーバーグ：「よかった。それを明らかにできて良かったです。」

ファウチ：「はい。それを明確にできて良かった。」皆さん、最初にこの話をしたとき、私は大変非難されました。私はありとあらゆる悪い呼ばれ方をしました。それは構いません。「JD 牧師は、頭がおかしくなってしまった。」とも言われました。もちろんそれは、もともと私が正気があったのなら…が前提です。

「彼は道から外れている！今、彼はこのような陰謀論を展開している！」わかりませんが、聖化された証明なのかもしれません。それください、たぶん 30 秒ほどください。そうすれば、「皆さんにそう言ったでしょ！」のひと時に浸れますから。だからこそ私はここに立ち、叫び、最前列の方に唾を飛ばすのです。これが今起こっている事です。これが真実です。私の言葉を鵜呑みにせず、ご自分でリサーチしてみてください。いいですか、私は高校しか出ていません。進学した人に何の問題もありません。実際には、ギリギリで高校を卒業したのです。私がこのリサーチができるなら、皆さんもできます。よろしいですね。この 1 年で、特にワクチンについて多くのことを学びました。もう一步踏み込んで、これは聖霊かもしれません。こんにちの疾患の多くは、ワクチンが原因です。多くの疾患、多くの神経学的疾患、生理学的、心理学的疾患は、ワクチンが原因です。皆さん私は今年、59 歳になります。一泣一主よ、どうか早く来てください。私が子どもの頃、私たちって、私の年齢に近い方は、5 種類くらいのワクチンを接種したと思います。今の子供たちは何種類のワクチンを接種しているのでしょうか？ 70 以上、7-0、70 種類のワクチンを接種しています。16 ヶ月で、MMR ワクチンを接種した後、二度と元に戻らなかった子供たちの報告がどれほどあるのでしょうか？ 乳児の免疫系はまだ発達していません。繰り返しになりますが、私はそれを長々言いたくありません。満足しているのではないのを皆さん理解くださるのを願います。主は私の心をご存知です。こんな風になることが何度もありました。「主よ、どうか私が間違っていますように。」私は間違いであってほしいのですが、実際にはそうではありません。それがこういうことなのです。私たちは、いかにして来るべきものに備えればよいのか、という問題になると思います。単純化しすぎるリスクがあるのは分かっていますが答えは "イエス" です。イエスが答えです。イエスだけが私たちの望みであり、イエス・キリストの救いを得た人は、携挙に備えてください。また、そうでない人は？ 今日この教会に来られているか、オンラインで見られるかもしれません。私は切に願い、嘆願します。懇願します。今日が救いの日です。

「主を求めよ、お会いできる間に。」(イザヤ 55:6)

永遠のいのちという、人生で最も重要な決断を先延ばしにしないでください。これが私たちが「預言・アップ」をする理由であり、イエス・キリストの救いの良い知らせ「福音」で締めくくる理由です。

またそれが、シンプルで、子どもにでも分かる救いの説明、「救いの ABC」をする理由なのです。実は今日は、ABC で少し違ったことをしたいと思っています。福音とはなんのでしょうか。福音とは「第一コリント人への手紙、15 章 1~4 節」にあります。使徒パウロが、コリントの教会に手紙を書いてこう語っています。イエスが来られ、十字架にかけられ、葬られ、3 日目によみがえられた。「コリント人への手紙」より前に、「テサロニケへ人の手紙第一」で、彼は、福音とは何かということを初めて取り上げています。彼はテサロニケの人々に、イエス・キリストが来られ、十字架につけられ、葬られ、3 日目によみがえり、

いつか携挙で戻って来られることだと語っています。それが救いの良い知らせ＝福音です。

「救いの ABC」とはなんですか。今日はちょっと違ったことをやってみたいと思います。宜しければ、約 39 年前に私がこの方法でキリストに出会ったという文脈で話を進めたいと思います。それは、唯一の方法ではありません。あなたが福音を伝える 1 つの方法で、誰かをイエス・キリストの救いへ導ける 1 つの方法です。私の場合、本土での寒い 1 月のことでした。自慢できることではありませんが、私はアルコール依存症で酔っ払い、非常にハイになっていました薬物中毒者であり、麻薬の売人でもありました。繰り返しますが、自慢できることではありません。つまり、「しかし、神は。」な事です。

福音がとてもシンプルに語られているのを聞きました。その夜、私は寝室に入りました。当時、私にはルームメイトがいました。私は、横になり、祈りながら眠りにつきました。翌朝、私は目が覚めたら、、

「キリストのうちにあるなら、その人は新しく作られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。」(第二コリント 5:17)

私は二度と振り返りませんでした。しかし、その夜に起こった最初の出来事は、自分が罪を犯したこと、そして救い主を必要としていることを認めたことでした。

それが A です。Admit/認める または、Acknowledge/認識する。

ローマ人への手紙 3 章 10 節にはこう書かれています。

「正しい者はいない。一人もいない。」

ローマ人への手紙 3 章 23 節がその理由を教えています。

「すべての人は (人は皆)、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることができず…」

あの夜、私はそのことに気づきました。私はその中の一人なのです、全ては皆を意味しますからそのため、全員が含まれます。私は自分が罪を犯し、神の完全な義の基準に達していないことに気づきました。ローマ人への手紙 6 章 23 節、いよいよ判決の段階です。言わば、私の罪には罰則があります。あなたの罪には罰則があります。

「罪の報酬は死です。」(ローマ 6:23a)

死刑宣告です。それは悪い知らせです。私は、AC/DC (の曲) が言ってるように、自分が文字通り、地獄へのハイウェイにいることに気づきました。そしてこの認識に至ったのです。

「罪の報酬は死です。しかし、神の賜物は私たちの主キリスト・イエスによる永遠の命です。」(ローマ 6:23)

そして私はこう気づきました。

B : 心で、Believe/信じる。ローマ人への手紙 10 章 9-10 節、

「心で神がイエスを死者の中から復活させられたと信じるなら、あなたは救われるからです。」(ローマ 10:9)

その時点まで来て、心の中で「イエスは実在する」と信じました。私は、サタンが実在することを認識していました。私の結論は、サタンが実在するなら、イエスも実在するはずだということでした。そして私は信じました。信じて呼び求め、祈りました。

C : 呼び求める/Call

"罪びとの祈り" と呼ばれるものを引用しても何のおかしくはありません。何も間違っていない。

決まった方法や特定の方法はありません。ありがたいことに。もしそうであれば、私は救われていなかったでしょう。なぜなら私の祈りは、ろれつが回らない、こんな感じでした。「神様、地獄に行きたくあり

ません。」誰の後も復唱もしませんでした。「ローマ人への手紙 10:9-10」にあるように、口で告白しただけです。

「口でイエスは主であると公に言い表わし、心で神がイエスを死者の中から復活させられたと信じるなら、あなたは救われるからです。」(ローマ 10:9)

そしてこれがその理由です。

「実に、人は心で信じて義とされ、口で公に言い表して救われるのです。」(ローマ 10:10)

最後に、ローマ人への手紙 10 章 13 節で、決定打です。

「主の名を呼び求める者は誰でも救われる。」(ローマ 10:13)

その夜から私は救われました。あなたが主の名を呼び、口で告白し、心で信じ、自分の罪と主を必要としていることを認めるとき、そのときからあなたの永遠の命が始まるということを理解していますか？

それが永遠の命が始まる時です。それがあなたが救われる時です。ですから、私の永遠の命が始まったのは、39 年前です。はい、それが私が新生した時です。39 歳に見えないのは分かっていますが、それが私の救われた時です。

さて、人々が「救いの ABC」を使って、創造的な方法で福音伝道されている 2 つの証を紹介したいと思います。最初のは、ヘザー・オルセンさんからです。

「おはようございます。JD 牧師！ 私は地元の大学で人事部に勤務しています私は毎日、あらゆる人事関連のメールをたくさん受け取ります。最近、ワクチン接種義務化の話をよく目にするようになりました。これは、大学側が推進していることなので、私も気になっています。”宗教上の理由で”という理由が認められなくなるのも時間の問題だとは思いますが、夫と話し合った結果、”強制的にさせられるなら辞める”ということで一致しています。彼は多発性硬化症 (MS) の障害を持っているので、守るのは私の役目です。不安になった時には、主に委ねるようにしています。今朝、このワクチンが義務化され、受けない人もいるというポッドキャストに関するメールが届きました。写真のスクリーンショットをこのメールに添付しましたのでご覧ください。不安になりそうだけど聞いてみようと思います。今一度、主に委ねて精神を落ち着かせることにします。(それがあなたにできる最善だと思いますよ。) 私たちは本当に驚くべき、そして恐ろしい時代に生きています。毎日、より邪悪なことが起こり、今日はどんな地獄が待っているのだろうと思いながら目を覚まします。毎週の励ましに感謝します。この励ましがなければ、私は道に迷ってしまいます。私はあなたの「救いの ABC」で名刺を作り、1 年前からアラブの人々に郵送しています。

(何という事でしょう！) ここアメリカで、英語が読めない人のためにアラビア語で印刷しています。これまでに郵送した数 100 通のうち、少なくとも一通が種を植えてくれることを祈ります。13 歳の頃からアラブの人々に心を寄せていました。古代エジプトの歴史を深く愛することから始まりました。神の祝福を！これからも私たちが励まし続けてください。(彼女はこう仰っています) 特にワクチン接種についてを！」ヘザーさん、ありがとうございます。感謝しています糸一本で持ちこたえていて、ボクシングの試合で殴られているような気持ちになっているのが、私だけではないのを知っています彼女はまるで私の心を読んでいるようですね。今だから言えます。まさにそんな気持ちです。

2 つ目です。「こんにちは JD 牧師。私の名前はゲイリーです。妻と 2 匹のラグドール猫と一緒に、カリフォルニア州のテハチャピ (正しい発音であることを願っています。) という小さな町に住んでいます。テハチャピは、フリーウェイを走っていて、まばたきをすると見落としてしまうような町です。私は、世界中の人々が救いの ABC をユニークな方法で共有しているあなたの話にとっても刺激を受けました。かっ

こいいですね。私は、"救いの ABC"を広める方法を探していました。しかし、なかなかその方法がないと思っていました。そして、私は小説を書いたことを思い出しました。なんと！ 私の本の後ろに、ABCを簡単に追加できます。少なくとも、人々が考えるきっかけになればいいなと思いました。そして、「救いの ABC」を本の後ろに付け加えられると「ひらめき」ました。「ひらめき」は私の会社名でもあるんですが(笑) そうすれば、自分で言うのもなんですが…スリル満点な本の最後に読者が神に会う機会を与えるようにと神に説得されたので、彼らは救い主が必要だという考えを受け入れることができる、より良い場所なのかもしれません。ビンゴ! その後、新しい原稿で本を再出版しましたが、後ろに「救いの ABC」が入っています。これからも良い仕事を続けてください。あなたとあなたの教会に神の祝福がありますように。イエス様の美しく素晴らしい御名によって。アーメン、アーメン。」

それではご起立ください。一緒に祈りましょう。ご忍耐に感謝します。賛美チームはあがってきてください。"最後に"一つお伝えします。私はがんばりましたよ。今日は、今の"最後に"まで"最後に"がありませんでしたから。悪くないでしょう。ここにおられる方やオンラインでご覧の方に言いたいのですが、非常にリアルになってきていると思いませんか？ ヘザーがメールに書いていたように、明日の朝、目が覚めたら、どんな地獄が待っているのだろうか？ それくらいひどい状態になっていますイザヤ書の一節を考えていました。頭の中から忘れることができません。ところで木曜日の夜の「旧約聖書の学び」、現在「イザヤ書」です。週なかの旧約聖書の学びに、ぜひご参加ください。私たちは現在イザヤ書に入っています。木曜日の夜は、子ども・ミニストリーもあります。皆さんもぜひご参加ください。しかし、イザヤは悪がどんどん悪化していく様子を語り、神はそれを注意して見ておられます。その重さに押しつぶされそうになっている義人たちを見て、最後の言葉をかけてくださるのです。最後の御言葉は今にも出てきそうです。それほどまでに、私たちは近づいているのです。だからこそもう一度、あなたにお願いしたい、懇願したいのですあなたが主の御名を呼び求めたことがないなら、心で信じ、口で告白し、罪の赦しのために主に信頼を置き、今日がその日になりますように。今日こそ、今、ここで。

祈りましょう。

天のお父様ありがとうございます。福音のシンプルさに感謝します。私たちの代わりに、あなたが十字架にかかって死なれ、私たちのために全額を支払ってくださった永遠の命という贈り物に感謝します。私たちの代わりに血を流し、その代価を支払い、購入くださったことに感謝します。主よ、それが子どもにでも分かるシンプルさであることを感謝します。一度もあなたを呼び求めたことのない人のために祈ります。彼らが心で信じ、今日彼らがあなたに信頼しますように。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7